

むなかた

発行：唐津街道むなかた推進協議会  
 協賛：協議会事務局(宗像市役所都市計画課内)  
 TEL: 0940-36-1484 FAX: 0940-37-1242  
 mail: tosikei@city.munakata.fukuoka.jp

唐津街道 むなかた を1つにつないでいこう!

唐津街道むなかた推進協議会では、唐津街道赤間宿と原町の昔ながらの歴史、自然などの地域資源の結びつきが弱いということが、課題として浮かび上がってきました。そこで、これらの地域資源を一つにつなぎ、ルートの明確化していくための第一段のプロジェクトとして、平成二十年十一月二十九日に、「赤間宿」から「原町」を経て、「畦町」までルートを通り、良い点、悪い点を見つけてながら、実際に歩いてみる「唐津街道むなかたウォーキング」を開催しました。

みぞれまじりの雨の中、約三十五人が参加し、「赤間宿」から「畦町」まで、無事歩破することができました。後日、十二月十六日には、ウォーキングを題材にしたワークショップを開催し、一つにつなぐ様々なアイデア等が提案されました。(次面に関係記事)

一つにつなぐプロジェクトの第1段として街道ウォーキングを実施しました。



<赤間宿散策の様子>



<原町散策の様子>

梅田 芳徳  
 (赤間地区コミュニティ運営協議会地域づくり部会長)

「唐津街道むなかた」副会長挨拶

今年度行った、ウォーキングやウォーキングワークショップで、原町の方々と交流の場を持つことができました。

これまで、近くに住んでいながらまちづくりについてざっくりと話をし合ったり、原町のまちづくりに関する話を聞くことができて、大きな刺激を受けました。この経験を唐津街道のまちづくりにも活かしていきたいと考えています。

時安 正明  
 (唐津街道南郷協議会会長)

「唐津街道むなかた」会長挨拶

私達は、宗像市を通る唐津街道が、少しでも多くの人を訪れる場所になればと活動を行っています。

その唐津街道がどのような通っているのか、宗像市に住んでいる人にも意外と知られていないのではないのでしょうか?

そのような思いから、赤間宿から原町を経て畦町まで、昔の人が歩いて行き交った道を、協議会のメンバーと歩いてみました。すると今まで気がつかなかったような課題が見つかることができました。今後の活動に活かされたいと思います。

■ロゴ・マークについて

「ちよとよみち 唐津街道 むなかた」のロゴ・マークは、宗像市原町在住の書道家・中村真里子氏の作品です。シンボルマークは、むなかたの「む」の文字をモチーフにデザインされたもので、魅力がいっぱいの唐津街道のルートを巡って欲しいという願いが込められています。

まちの出来ごと、イベント



【多くの人出で賑わう原町】



【併せて開かれた絵画展】

平成二十年九月二十三日、原町を会場にて、今回で十三回目となる九州大道芸まつりが開催されました。

これまで、宗像市内の四つの会場で開催されてきましたが、今回から原町の単独開催となりました。入出が少なくならないか、心配されましたが、過去最高の約八千人の見物客が訪れました。

今回もプロの大道芸人が繰り広げる本格的な大道芸や地域サークルのダンス等の発表会が行われ、併せて絵画展や、たくさんのお店が旧唐津街道を彩りました。更に、今回から、原町の地域資源を発見するウォークラリーや案山子コンテストなど来場者参加型の企画も行われ、盛況を見せていました。

また、会場の一角に「ちよとよみち唐津街道むなかた」の取り組みを紹介するブースを設け、パネル展示を行いました。パネルの前では多くの人足を止めて見入っていました。「唐津街道むなかた」の取り組みを多くの人に知ってもらおうきっかけになったのではないかと思います。



【唐津街道むなかたのパネル展示】

九州大道芸まつり in 宗像

街道コンサート

平成二十一年一月十六、十七日に、赤間及び南郷コミュニティセンターで、フルート奏者の荒川氏を招いたコンサートが開かれました。歴史的なまちを舞台に演奏してみたいと言った希望に応えたい形で実現したコンサートです。

南郷会場では、ボランティアグループによる手づくりのケーキがふるまわれ、子ども達の描いた原町の町並みや原町に関する歴史資料、版画が展示されるなど、歴史的雰囲気を感じさせる会場の中、来場者は、荒川氏が奏でるフルートに酔いしれていました。最後のアンコールでは荒川氏の作曲の宗像市の唄を皆で合唱しました。



【ケーキのサービス】



【昔のまちなみ絵地図】



【小学生の描いた原町の風景】



【原町の歴史資料の展示】



【市長によるもちつき】

平成二十一年二月二十一日、二日に旧赤間宿に、赤間宿まつりが開催され、たくさんの人々が赤間のまちを訪れました。

このお祭りは、赤間宿の酒蔵の開放に併せて開催されるイベントです。酒蔵では、新酒の試飲やぐい呑みがあり、多くの人がごちそうをいただき、新酒の味に酔いしれていました。

まちの中では、屋敷を開放して、ひなまつりもの、工芸作品の展示、道ばたでは、赤間太鼓などのイベントやカキの炭焼きをはじめとする出店が並び、昔の賑わいが蘇っていました。



【開放された酒蔵】



【赤間太鼓の披露】



【開放された町家】

赤間宿まつり

# 発表会での意見集

## ＜組織づくりについて＞

- ・原町では継続することで参加メンバーが増えていったので、まず継続することが重要である。
- ・女性の参加者が増えれば出席率が上がるので、組織づくりの時には女性のメンバーを加えると良い。
- ・中心となる人が定期的に会合を持つことで、組織づくりにつながり、周囲に認知されていくのではないかな。

## ＜休憩所づくりについて＞

- ・手づくりバンコを軒先きに置いてもらうようにしたら良いのでは。
- ・赤間宿や原町では、通常のサイズの半分の奥行きバンコがちょうどよいので、唐津街道むなかたオリジナルのバンコをつくったらどうか。

## ＜案内ガイドブックの作成について＞

- ・教育大前駅から出発し、城山などを巡る「歴史ウォーキング」をする人が増えているので、この人達をルートに回遊させるような工夫をするとよい。
- ・赤間宿や原町を訪れる観光客を相互に回遊させる取り組みができると良い。
- ・目的に合ったウォーキングができるよう、唐津街道のルートを中心に面的なウォーキングルートをつくり、マップ化すると良いのでは。
- ・「城山を守る会」が、城山も含め周辺の中世山城を巡る取り組みをしている。城山から赤間宿、原町を経て許斐山へと至るコースを考えてはどうか。

## ＜空家、空き地化の防止策について＞

- ・赤間宿では、空家空き地化はある程度歯止めがかかってきたが、商売をやめるところが増えてきてまちが寂しくなっている。
- ・まちづくりを進め、魅力的な景観形成を図り、まちを活性化していくことが一番の空家、空き地防止策になるとおもう。

## ＜街道全体の舗装の統一について＞

- ・統一したサインやお店の看板類もできるとよい。
- ・祭りや、清掃、イベントなどを協調したものにすると良いのでは。
- ・街道全体で花を植える取り組みをしてもよい。

## ＜ウォーキングワークショップの試みについて＞

- ・今回のウォーキングでこれまで点だったものが線としてつながった。
- ・他の九州ルートは長距離の壮大なルート。対して宗像のものは歩いても行けるコンパクトなもので、「ウォーキング観光」という独自性を出せるのでは。
- ・宗像大社や沖の島が世界遺産の指定へ向け盛り上がりがあるので、街道のルートも負けないように取り組んでいく必要がある。
- ・今後、宗像大社や沖の島まで見据えた面としての広がりも持つ必要がある。
- ・新しい町が多い宗像市で、ルートの歴史的なまちの趣きはかけがえのない財産なので、唐津街道むなかたの取り組みを全市にアピールしていきたい。



# 九州風景街道の玉川氏を招き意見交換会を行いました。



【まちなみの視察】



【意見交換会】

平成二十一年一月三十日に九州風景街道の玉川氏を招き、意見交換会を行いました。赤間宿のまちづくりや唐津街道むなかたの取り組みについてアドバイスを頂きました。最初に原町、赤間宿のまちなみを視察してもらい、その後、赤間コミュニティセンターにて意見交換会を行いました。赤間宿のまちづくりや唐津街道むなかたの取り組みについてアドバイスを頂きました。

## ＜玉川氏による主なアドバイスの内容＞

### ＜赤間宿のまちづくりについて＞

- ・そのまちのどこに魅力があり何が面白いのかを、住んでいる人が知り、価値を認識することが重要で、人材づくりの基本ではないか。
- ・学生など若い力との連携や協働が必要。近くに教育大があるので、先生や学生を巻き込むと良い。
- ・古民家の保全については、歴史にだけ価値を置くのではなく、一方で居住性も考える必要がある。保全と併せて、古民家での新しい魅力的な住まい方を考えると良いのではないかな。また、古民家の新しい使い方を提案すると良い。

### ＜唐津街道むなかたについて＞

- ・メインのルートが未成熟である。人の流れをつかみメインのルートをはっきりさせ、そこからどう寄り道してもらうのかを考える必要がある。例えば玄海の宗像大社などを活用し、唐津街道のメインのスポットと結び、人の流れをつくるような回廊的風景街道とするのも良いのではないだろうか。

今回実施したウォーキングは、往時のウォーキングでは、区間ごとに今日の成果を発表しました。各班の成果について意見交換をしました。



【ワークショップの様子】

# ウォーキングワークショップでの提言

- 赤間宿では景観形成、交通対策など課題が多くあるが、赤間宿住民を中心とするまちづくり組織をまず立ち上げたい。
- 赤間宿には予想以上の古民家や歴史的な資源が残っていた。今後、こうした歴史的な資源が失われないように、空家、空き地化を防止していくのが重要ではないか。
- 原町では休憩ポイントをどう整備していくかが課題である。
- 唐津街道むなかたの案内ガイドブックを作成し、ルートの見どころ、ポイントにはデザインを統一したネームプレートを設置してはどうか。
- 唐津街道をつながりのある一つのルートとして分かりやすくしていくために、ルートを原町で行っている、自然系のカラー舗装でルートを統一すると良いのではないかな。

# 唐津街道むなかたウォーキング + ウォーキングワークショップ

## ◆◆唐津街道むなかたウォーキングの概要◆◆

- ・日時：平成20年11月29日 午前10時～午後2時
- ・場所：唐津街道赤間宿～畦町まで約8kmを散策
- ・参加人数：35人

### (1) ウォーキングのコース

- 赤間須賀神社に集合しました。
- 赤間須賀神社から辻田橋で休憩を挟み辻田橋から原町公民館まで散策しました。
- 原町公民館で昼食をとりました。
- 原町公民館から大穂町を経て畦町まで散策しました。

### (2) ウォーキングの方法

- 3つのグループに分かれてウォーキングを行い、グループで役割分担を決めてルートの点検などを行いました。
- 赤間宿、原町のメンバーは、自分の町を歩く時には、まちなみの紹介をして頂きました。

### (2) 調査の方法

- 散策ルートの歩き易さ、景観についてその良い点、悪い点を発見する調査を行いました。

## ◆◆ウォーキングワークショップの概要◆◆

- ・日時：平成20年12月16日 午後7時～10時
- ・赤間コミュニティ・センター
- ・参加人数：23人

### (1) はじめの挨拶

### (2) オリエンテーション

- 2つのグループに分かれました。
- 唐津街道むなかたウォーキングの開催概要を報告しました。

### (3) 良い点、悪い点の整理

- 皆さんに歩きながら記載してもらった、ルートの歩きやすさ、景観についての良い点、悪い点のカードを区間別に整理して模造紙に貼付けました。
- 写真をみながら、ウォーキングを思い出し、他に各自が気がついた良い点、悪い点を、意見を出し合いながら、ポストイットカードに記入し模造紙に追加して貼付けました。

### (4) より魅力的なルートとするために

- 区間別の提言
  - 区間別により良いルートとするために、どのような取り組みや工夫をしたら良いのか、皆さんが意見やアイデアを出し合い、ポストイットカードに記入して、模造紙に貼付けました。
- ルート全体についての提言
  - 唐津街道むなかたルート全体として見た時に、一つのルートとしていくために、どのような活動を行ったらよいのか、皆さんの意見やアイデアを出し合い、ポストイットカードに記入して、模造紙に貼付けました。
  - 提案のあった活動の中で、グループとして特に重要だと思う活動を選びました。

### (5) 今日の成果の発表会（交流会会場にて）

- 班ごとに今日の成果を発表しました。
- 各班の成果について意見交換をしました。